

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2022-2023



あさがお

Vol.14
2023.8.1

地区活動報告書



2023年5月27日～31日 オーストラリア メルボルン国際大会



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
第4分区IMを終えて	3
旭川MRC30周年記念式典を終えて	4
写真で見る1年間の軌跡	5
各ガバナー補佐 1年間を振り返って	21
各委員会・チーム 1年間を振り返って	25
地区幹事退任にあたって	45
新入会員の紹介	46
ロータリー財団寄付者報告	46
米山功労者報告	47
物故会員	47
事務局便り	47
例会出席率及び会員数推移	48



ガバナーメッセージ

2022-23年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー 久木 佐知子
(旭川西RC)

夏の日差しが眩しい季節を迎えています。皆様にはお健やかにお過ごしのことと思います。お蔭様で6月末をもって1年間のガバナー職を無事終えることが出来ました。

会員の皆様には様々な面でご協力いただきました。ここに改めて1年を振り返り、心より感謝を申し上げます。

2022～23年度はRI初の女性会長 ジェニファーE・ジョーンズ氏のもと、私自身にとって特別な年度として活動させていただきました。特にDEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の推進において、女性活躍やRACをはじめとした若い人の活動に注力して参りました。

そして「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」の地区スローガンのもと、未来に思いを馳せ活動した1年でした。

ポールハリスの提唱によって4名の会員から始まったロータリークラブは、今年2月に創設から118年を迎えました。世界中が新型コロナウイルスの対応を迫られている間にも、ロータリーは変化に対応し成長を続けてきました。ローターアクトクラブが国際ロータリーに加盟し、ロータリー衛星クラブをはじめとするさまざまな形態のロータリークラブが世界中で生まれ、国際大会から例会にいたるまでオンラインで開催されるようになりました。DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）への取り組みも、新たな社会環境での元気なクラブづくりの推進力となっています。

全世界の会員数が120万2,945人となり、120万人を超えたことが発表されました。2023年5月の統計です。一時期116万人まで減少したことがありましたので、まさにV字回復です。地区の会員数は皆様のご協力やご努力によりコロナ以前に戻りました。地区ではICT（情報通信技術）に力を入れHPを一新、資料の取得や申請なども簡単にできるようになりました。ソーシャルメディアも活用し、Face Bookではさまざまな情報や公式訪問の様子なども随時投稿しました。

さて、公式訪問では66クラブを訪問させていただきました。会員の皆様と直接お会いできたことは大きな喜びでした。公式訪問を通じて、各クラブはそれぞれに個性や特徴をいかした魅力ある組織運営を行っていることが理解できました。新しいクラブの創設を目指したり、中長期計画を作成・実践したり。少数精鋭で仲睦まじく活動し、会員同士のより強固な関係を築いているクラブもありました。女性会員が初めて入会したクラブは4クラブあり、女性会員ゼロクラブは66クラブ中、24クラブに減少しました。

各委員会の活動も活発でした。会員増強委員会は各クラブの現状把握と会員増強のアイデアや問題点など31ページにわたる報告書を提出してくださいました。この報告書は各クラブに配布し、情報を共有しました。改めて邵龍珍委員長をはじめ委員会の皆さんにお礼申し上げます。

ポリオ撲滅では、ポリオプラス委員会と公共イメージ向上委員会の協力のもと、世界ポリオデイに合わせて2510地区と協力し、全道に向けてラジオキャンペーンを開催し、オンラインでも配信しました。また、公共イメージ向上委員会は3年未満の会員や女性会員を対象としたフォーラムを開催した他、DEI推進委員会との共催で他の女性団体をゲストとしてお迎えし、女性セミナー「Lady Go」を開催させていただきました。70名を超える女性リーダーが集結し、講演会やディスカッションを通じて情報を交換し、親睦を深めました。参加者からのアンケートでは高評価をいただきました。

是非、次年度以降も女性セミナーが継続的に開催されることを願っています。

地区大会を3年ぶりに対面式により旭川で開催することができました。本会議には1102名もの登録をいただきました。大会ではDEIを推進するRIの方針を受けて女性にスポットを当てるプログラムを企画しました。RI会長代理としてRI2520地区の山口淑子PDGをお迎えし、また記念講演ではTVでも活躍されている札幌出身の山口真由さん（信州大学特任教授、NY州弁護士）に講演をいただきました。山口さんは中立的で差別のない「ポリティカル・コレクトネス」の思想が世界に広がっていることを紹介し、タイムリーな講演となりました。

海外交流として、4年ぶりに姉妹地区の韓国3590地区、友好地区のタイ3330地区の地区大会にも出席さ

させていただきました。タイでは現地で実施されたグローバル補助金事業を視察し、私たちの補助金が地域に貢献していることを肌で感じる機会となりました。

また、モンゴルではフレールCをはじめ多数の地区やクラブが参加した補助金事業の完成式に出席しました。モンゴルの12クラブの会長らとの交流会、米山奨学会の学友やRACの皆さんとの意見交換など大変有意義なものでした。これを機に現在、モンゴルのクラブと2500地区でVTT事業を進めています。

各IMではガバナー補佐の皆様のリーダーシップのもと、充実した記念講演やフォーラムが企画されました。教育者、宮大工棟梁、脚本家、パラリンピック金メダリスト、ベネズエラ・ボリバル共和国特任全権大使、白糠町長、女性経営者など多彩なゲストがご自身の体験を通して未来を語っていただきました。加えて研修委員会の小船井、松田両PDG、小谷DEI委員長らによる講義は、変化の激しい時代の波に対応していくための実践的な研修となりました。

研修委員会やPDGの皆様には、いつも温かく見守っていただきご指導を賜りました。ガバナー補佐の皆様は、とても仲が良く、熱心に学び、情報を共有しながら地区の発展に努めてくださいました。素晴らしいPDGやガバナー補佐の皆様は恵まれて、私自身、自信をもって地区運営に臨むことができました。感謝に堪えません。

メルボルン国際大会（5月27～31日）は4年ぶりのリアルな対面式の国際大会となり、世界各地から12,500人が集いました。2500地区からも50名以上の参加をいただきました。国際大会は世界中のロータリアンの交流だけでなく、その土地の文化や歴史、人々の生活を知る絶好の機会です。韓国3590地区のハン・ソンジェ総裁ご一行、タイの3330地区のオラチョンPDGとも再会し、「ロータリーはつながりに満ちている」という思いを強くした大会でした。

現在も世界は感染症の脅威。ウクライナ戦争の長期化、多発する自然災害など大きな危機に直面しています。しかしどんな困難な中にあってもロータリアンは未来を想像し、変化に適応し、行動する人たちの世界的ネットワークをいかして解決してきました。直接会えないときもオンラインでつながり、情報を共有しながらコミュニケーションを図ってきました。

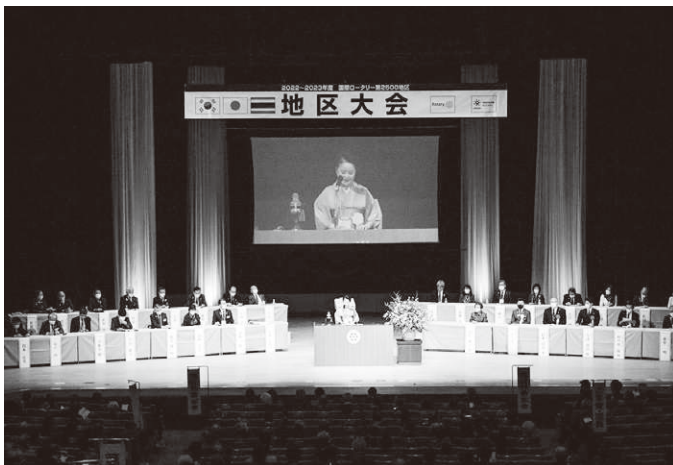
2023年2月に発生したトルコ・シリア大地震では、短期間に64クラブから総額240万円以上の寄付が寄せられました。これに加え地区では成瀬ロータリー財団委員長と相談し地区活動資金DDFからトルコ・シリア大地震に5万ドル、ウクライナに2万ドル、パキスタンの水害に1万ドルを拠出させていただきました。ご寄付をいただいたすべてのロータリアンの皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。

今後は地区の副ガバナーとして鶴見誠一郎ガバナーをお支えし、地区の発展に努めて参ります。また「ロータリーの友」顧問と、シンガポール国際大会推進コーディネーター補佐として第1ゾーンを担当させていただきますことになりました。次回の国際大会はシンガポールで「世界と希望をわかちあおう」を合言葉に2024年5月25日から29日まで開催されます。ロータリー最大のイベント、国際大会に多くの皆様の参加を心からお待ちしております。

最後になりますが、2500地区のロータリアンの皆様には1年間大変お世話になりました。各分区のガバナー補佐、地区役員の皆様には2500地区の発展にご尽力いただきました。そして川村寿裕地区幹事、ホストクラブとして私を支えてくださった旭川西ロータリークラブの皆様にも改めて感謝を申し上げまして私からの最後のガバナーメッセージとさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。



女性セミナー



地区大会



メルボルン国際大会



第4分区IMを終えて

第4分区ガバナー補佐 久保 元
(雄武RC)

2023年6月17日(土)、オホーツク雄武町にてRI2500地区第4分区のIMを開催することができました。開催にあたり、来賓として出席下さいました石井雄武町長はじめ、久木ガバナー、川村地区幹事、鶴見次年度ガバナー、同期のガバナー補佐の皆様、そして分区内7クラブの先輩ガバナー補佐およびロータリアンの参加を頂き、心より感謝を申し上げます。

RI会長テーマである【イマジンロータリー】、そして我が2500地区久木ガバナーのスローガンである【ともに紡ごう！ロータリーの未来へ】の熱い思いを受け、今回の第4分区IMのテーマを【地域から愛される、魅力的なロータリー!!】とさせて頂きました。地域にとって必要とされるロータリークラブにならねばなりません。

基調講演では、雄武生まれで、パラリンピックアルペンスキー座位で3個の金メダルを獲得した狩野亮さんに【アルプスを超えて～挑戦は、新たな世界へ～】と題してお話をさせて頂きました。亮さんが8歳の時に、通学途中で交通事故に遭い、車椅子生活となりましたが、講演を聞いて、亮さんの技術レベルの高さと精神力の強さに驚きを覚えました。私も亮さんに負けないように頑張らねばと感じました。

その後、次年度ガバナーの鶴見誠一郎様、第4分区ガバナー補佐の伊藤晴之様、IM開催ホストクラブ会長の丸田教雄様からご挨拶を頂き盛会裏に終了することができました。

結びになりますが、IMを準備・運営されました、ホストクラブの雄武ロータリークラブの皆様から感謝を申し上げ、第4分区IM開催の報告とさせて頂きます。



手に手つないで



久木ガバナー挨拶と会場の様子



ホストクラブの雄武RCメンバー



30周年記念式典を終えて

旭川モーニングロータリークラブ 会長 **大久保 昌 宣**
(旭川MRC)

2023年6月24日、創立30周年記念式典を開催することができました。当日は今津寛介旭川市長様や国際ロータリー第2500地区久木佐知子ガバナー様をはじめ200名を超える皆様にご臨席賜りました。会員21名が全員参加で式典の準備に奔走し、式典を終えることができたことに安堵しております。特に会員歴1年程の会員が積極的に参加している姿をみて、これからの30年、クラブとして大きく発展できる期待が膨らみました。

我々のクラブでは例会で毎回四つのテストを唱和しております。これからも言行の指針として会員一同クラブ運営と奉仕活動に邁進する所存です。

ロータリアンの皆さまにはより一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



写真で見る一年間の軌跡



会長エレクト 研修セミナー(PETS)

■2022年2月27日(日)
9:00~15:00



地区研修・協議会

■2022年4月10日(日) 9:20~ 旭川市民文化会館



ガバナー挨拶



RIテーマ・国際競技会報告並びに
地区活動方針及び活動目標の発表



受付



ガバナーバッジ交換



会場



基調講演



第1分科会



第2分科会



第3分科会



第4分科会



第5分科会



2022年6月18日 旭川東ロータリークラブ創立50周年記念式典



2022年7月9日 第1回諮問委員会／第8回ガバナー補佐研修会議



2022年7月24日 米山記念奨学会セミナー



2022年9月24日 美幌ロータリークラブ創立60周年記念式典



2022年9月28日 北見ロータリークラブ創立85周年記念式典

地区大会スナップ(1日目)

記念ゴルフ大会

■2022年10月8日(土) 7:40～
大雪山カントリークラブ東コース



地区諮問委員会

地区委員会

■2022年10月8日(土) 9:30～
アートホテル旭川



今年度ガバナー補佐研修会議



地区財務委員会



会員研修セミナー

RI会長代理・ 会長・幹事 協議会

■2022年10月8日(土) 16:00～
アートホテル旭川



RI会長代理 歓迎晩餐会

■2022年10月8日(土) 18:00～
アートホテル旭川

姉妹地区 (RI第3590地区) 歓迎会

■2022年10月8日(土) 19:40～
アートホテル旭川



地区大会スナップ(2日目)

本会議

■2022年10月9日(日) 9:00～
旭川市民文化会館大ホール



ガバナー挨拶



RI会長代理挨拶



姉妹地区総裁挨拶



上川振興局長挨拶



今津市長挨拶



商工会議所専務挨拶



表彰



記念講演

懇親会

■2022年10月9日(日) 17:30~
アートホテル旭川



第51回 ロータリー研究会

■2022年11月20日(月),21日(火)



2022年10月14日 帯広西ロータリークラブ創立50周年記念式典



2022年10月22日 音更ロータリークラブ創立30周年記念式典

ロータリー財団 補助金管理セミナー

■2022年11月27日(日)
アートホテル旭川



第1エリア代表者会議

■2022年11月5日(日)
花月会館



2022年12月4日 厚岸ロータリークラブ創立60周年記念式典



2022年12月26日
利尻島ロータリークラブ創立40周年記念式典

Rotary 旭川南ロータリークラブ創立50周年記念祝賀会



2023年2月4日 旭川南ロータリークラブ創立50周年記念式典

インターシティ ミーティング(都市連合会)



2023年4月23日 第1分区分 IM マグロ解体ショー



2023年5月21日 第2分区分 IM



2023年4月8日 第3分区分 IM



2023年3月25日 第5分区IM



2023年3月18日 第6分区IM



2023年5月8日 第7分区IM



2023年6月10日 第8分区IM

国際奉仕事業

■2023年2月13日
カンボジア・シェムリアップ州・チクレン群
オーロミエン村に幼稚園を建設寄付



地区女性セミナー

■2023年3月11日

グローバル補助金事業

■2023年3月17日 RI3330地区にて
持ち運び用自動救急救命装置2台と
整形外科の手術に必要な器具の購入に協力



RI3590姉妹地区大会

■2023年4月21日,22日
晋州 (チンジュ) にて



ローターアクト 地区大会

■2023年5月20日
美幌町民会館にて



2023年5月13日 根室西ロータリークラブ創立50周年記念式典

ガバナー公式訪問

■2022年7月11日～10月4日

釧路西ロータリークラブ

久木 佐知子ガバナー公式訪問



2022年7月11日

釧路東ロータリークラブ

久木 佐知子ガバナー公式訪問



2022年7月12日

釧路ベイロータリークラブ



2022年7月12日

釧路北ロータリークラブ



2022年7月13日

釧路ロータリークラブ



2022年7月14日

釧路南ロータリークラブ



2022年7月15日

白糠ロータリークラブ



2022年7月15日

音別ロータリークラブ



2022年7月15日

芽室ロータリークラブ



2022年7月19日

音更ロータリークラブ



2022年7月20日

帯広ロータリークラブ



2022年7月20日

清水ロータリークラブ



2022年7月21日

帯広西ロータリークラブ



2022年7月21日

帯広北ロータリークラブ



2022年7月22日

厚岸ロータリークラブ



2022年7月25日

根室西ロータリークラブ



2022年7月26日

根室ロータリークラブ



2022年7月26日

別海ロータリークラブ



2022年7月27日

浜中ロータリークラブ



2022年7月28日

中標津ロータリークラブ



2022年7月28日

弟子屈ロータリークラブ



2022年7月29日

帯広南ロータリークラブ



2022年8月1日

広尾ロータリークラブ



2022年8月2日

帯広東ロータリークラブ



2022年8月2日

上士幌ロータリークラブ



2022年8月3日

中頓別ロータリークラブ



2022年8月9日

名寄ロータリークラブ



2022年8月9日

興部ロータリークラブ



2022年8月17日

雄武ロータリークラブ



2022年8月17日

中湧別ロータリークラブ



2022年8月18日

遠軽ロータリークラブ



2022年8月18日

紋別ロータリークラブ



2022年8月19日

紋別港ロータリークラブ



2022年8月19日

稚内南ロータリークラブ



2022年8月22日

枝幸ロータリークラブ



2022年8月10日

利尻ロータリークラブ



2022年8月23日

利尻島ロータリークラブ



2022年8月23日

稚内ロータリークラブ



2022年8月24日

豊富ロータリークラブ



2022年8月25日

天塩ロータリークラブ



2022年8月25日

美深ロータリークラブ



2022年8月26日

士別ロータリークラブ



2022年8月29日

滝上ロータリークラブ



2022年8月31日

美幌ロータリークラブ



2022年9月1日

網走西ロータリークラブ



2022年9月1日

北見東ロータリークラブ



2022年9月2日

北見西ロータリークラブ



2022年9月2日

北見ロータリークラブ



2022年9月2日

留辺蘂ロータリークラブ



2022年9月6日

網走ロータリークラブ



2022年9月6日

清里ロータリークラブ



2022年9月7日

斜里ロータリークラブ



2022年9月7日

足寄ロータリークラブ



2022年9月8日

美瑛ロータリークラブ



2022年9月12日

富良野ロータリークラブ



2022年9月15日

旭川ロータリークラブ



2022年9月16日

旭川空港ロータリークラブ



2022年9月20日

旭川北ロータリークラブ



2022年9月21日

旭川モーニングロータリークラブ



2022年9月22日

旭川東ロータリークラブ



2022年9月22日

北海道2500ロータリーEクラブ



2022年9月26日

礼文ロータリークラブ



2022年9月27日

旭川東北ロータリークラブ



2022年9月28日

上川ロータリークラブ



2022年9月29日

旭川南ロータリークラブ



2022年10月3日

旭川西ロータリークラブ



2022年10月4日

1年間を振り返って



第1分区ガバナー補佐

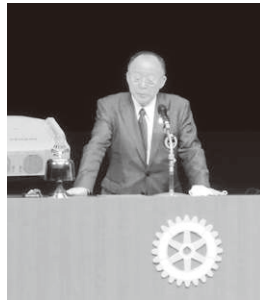
中居 詳往 (稚内南RC)

2022-2023年度は、あっという間の1年でした。ロータリアン歴34年の中でも、とても充実をした1年で代え難い時間であったと思います。

新型コロナウイルスも丸3年と、未だ終息の見えないコロナ禍でのロータリー活動でした。新年度のスタート時は、重責を担って不安でしたが、久木佐知子ガバナーの思いを第一

区各クラブに伝える事が自分の責務だと肝に銘じ奔走してまいりました。そうした現状でもZOOM等を併用して行動制限中ながら工夫を凝らし、また十分に感染対策を取りながら第一分区の皆様のお力をお借りしてIMをやり遂げることができた事に大変感謝をしております。また、各クラブへの公式訪問時には第一分区の皆様の暖かい歓迎を頂きましたことに感謝し、久木ガバナーのお話を拝聴した上で各クラブが今もたれている問題点を直接聞いて頂き、その現状を今後の課題としてRI2500地区共通の問題としていただける事と考えております。また、今年度は各分区のガバナー補佐が過去にないくらい連携を親密に取り、力強い結束力を築けた年度でも有ったと思います。

今一度ロータリーの友人の素晴らしさを認識できたとも感じました。最後に第一分区の各クラブの皆様にはご協力を頂き感謝申し上げます。微力ではございましたがとても意義のある1年でした。



1年間を振り返って



第2分区ガバナー補佐

大野裕一郎 (土別RC)

●'22~'23年度 第2分区 ガバナー補佐として久木ガバナー、川村地区幹事の下 活動できた事を大変嬉しく、誇りに思っています。この年度は、RIや2500地区にとりましてもロータリアンとして強く記憶に残る年度となりました。それは、国際ロータリー初の女性会長として就任されましたジェニファー・ジョーンズ氏や2500地区初の女性ガバナーとして就任されました久木佐知子氏であります。また折しも、コロナ禍で各種会合も

バーチャル形式やZoom会議が多用される中、感染対策を措置しながらFace to Face の懇親会でメンバーが親近感を強くし友情を深めた事は、大変有意義であったと感じています。

各分区ガバナー補佐8名は、幼馴染(おさななじみ)のような親友・同志となり久木ガバナーをアシストする為に情報交換し、また各分区のIM(都市連合会)開催にも参加し親睦を深める結果となりました。

●ガバナー補佐として、第2分区の各クラブを訪問し公式訪問の事前準備を確認しながらも、ロータリアンとしての慈愛と友愛の精神を示して頂き、各クラブから歓待・歓迎されたことに感激、感動を隠し切れませんでした。

同時に各分区IM訪問時には、補佐仲間にもお心配り(こころくば)頂き、また自ら地元の新鮮な食材で手料理を提供しサービス賜りましたこと、一生忘れる事の出来ない思い出となりました。数々の心こもったサービスに衷心より深く感謝とお礼を申し上げる次第です。

●第2分区次年度ガバナー補佐は、美深RCの園部一正(かずまさ)氏です。

次年度鶴見ガバナーの意向を受け、早々に各クラブ協議会や親睦会に出席し活発に活動していますので、引継事項は特にありませんが、敢えて二点ほど上げさせていただきます。

①ガバナーとは常に「報・連・相」を保持すること。

②分区内クラブとの親密な関係を構築すること。

●美深RCは、2024年4月に創立60周年を迎えます。園部次年度AGの所属クラブであり記憶に残る年度となりましょう。式典、懇親会を楽しみにしています。

●最後になりましたが、久木ガバナー、川村地区幹事、第2分区各クラブの会長、幹事、会員の皆さま、そして各分区ガバナー補佐の皆さま方に心より厚く感謝と御礼を申し上げ2022~23年度の感想と報告に変えさせて戴きます。誠に有難うございました。



1年間を振り返って



第3分区ガバナー補佐

藤岡 末生 (富良野RC)

一昨年の10月に第一回目の補佐研修会議が開催され、小船井研修リーダーより補佐の役割等々研修を受け、補佐の大切さを学びました。それが何と毎月のように研修が開かれ、多くを学び感謝申し上げます。昨年の地区研修、地区協議会等次年度の本格的な活動が始まり、緊張の連続でありましたが、RI会長のメッセージ「イマジン、ロータリー」久木ガバナーの「ともに紡ごう、ロータリーの未来へ」地区方針等理解を深めることが出来ました。そして、いよいよスタート 先ずは第三分区のクラブ訪問を開始しましたが、当分区は8分区中一番クラブ数が多い分区です、12クラブを訪問するに当たり日数が必要で各クラブとの調整しながら7月上旬から8月中旬まで要しましたが、RI会長、地区ガバナーの方針等伝達出来たと思います。そして、規定審議会での決定事項も伝達出来たと思います。当第三分区は7月より毎月会長、幹事会を開催し、私年度において、毎回参加し機会あるたび、地区の状況等伝達し、各クラブの想い等も交換でき親睦も深められたと思います。

今年度は、「ポリオ撲滅キャンペーン」をポリオプラス小委員会佐野委員長の下、各ガバナー補佐の委員として協力できた事、地区全体での協力による活動に分区はもちろん地区全体で実施できたことに感謝申し上げます。最後に各分区の「IM」について、当分区は勿論、各分区補佐の皆さん御疲れ様でした、今年度の補佐の皆さんがお互いの分区の「IM」に交互に参加させて頂きとても参考になりましたし各分区の良さも習得出来たことが大きな収穫になりました。各分区の会員の皆さんお世話になり、有難う御座いました。まだまだ話は尽きませんが、私にとって充実した1年でした、久木ガバナー、川村幹事に私たちを導いて頂き有難う御座いました。結びに皆さんのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

1年間を振り返って



第4分区ガバナー補佐

久保 元 (雄武RC)

昨年7月からガバナー補佐としての年度が始まり、最初はどうなるものかと不安でいっぱいでした。しかし、久木ガバナーの協調と友和の精神、そして他分区7人の優秀なガバナー補佐の協力、さらに第4分区各7クラブの素晴らしい会長・幹事はじめロータリアンの協力により何とか無事に務めを果たすことができ、ホッとしています。

私にとって、ガバナー補佐をしていたからこそこの出会いがありました。それは、ゴリラとの出会いです。5月21日第2分区IM (大野ガバナー補佐) 参加のため、名寄市を訪問しました。そこで、【(株)松前 (松前社長は名寄RCメンバー)】というお店に展示されていたゴリラと出会いました。ゴリラは、強くたくましいですが心は優しく、仲間を大切に、喧嘩をしません。幼いころからゴリラのようになりたいと思っていました。早速購入させて頂き、今は、会社に展示しています。



ゴリラとの出会い

第4分区ガバナー補佐に就任して、第2分区大野ガバナー補佐と出会い、第2分区IMへ参加して、名寄RCの松前さんと出会い、ゴリラと出会いました。・・・不思議な縁を感じます。

第4分区7クラブの内、中湧別RCが今年度をもって長い歴史にピリオドを打つことになりました。これまでの様々な活動に敬意を表したいと思います。久木ガバナーの労いの言葉に対する横幕(よこまく)会長の感謝のスピーチは、忘れることができません。

今後も皆様からのご指導とご鞭撻を受けながらロータリー活動を行っていきたく思っております。ロータリアン皆様の御指導を宜しくお願い申し上げます。一年間の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。



中湧別RC横幕会長



地区役員との出会い

1年間を振り返って



第5分区ガバナー補佐

丹羽 修二 (斜里RC)

ガバナー補佐に任命された時は、当時体調不良だったせいも、困ったものだと思います。2021年10月21日に第1回が行われ2023年6月23日の最終の補佐会議まで20ヵ月…補佐就任の挨拶、ガバナー公式訪問に同行してのクラブ協議会の参加、IMに出席して頂けるように各クラブへのお願い、周年行事への参加、地区委員会への参加等々…こんなに多忙とは思いませんでした。はたして、ガバナーと各クラブの橋渡しが出来たかどうかは、はなはだ疑問が残るところではありますが、各分区のガバナー補佐の皆さんと共に、走り切った感があります。

その中でも、ガバナー補佐の大きな役割の一つであるIMを3月25日斜里ロータリークラブにおいて開催しました。コロナ禍で第5分区では3年間も開催されておられませんでした。今回無事開催できたこと、盛會に終了できたことは、必ずや次回からのIMに繋がっていくと思います。ロータリーの情報を伝え合い、5分区内の親睦を深め、大変有意義であると実感しました。改めまして、斜里ロータリークラブの日下IM実行委員長はじめ各会委員の皆さまに深く感謝致します。

また分区以外のIMにも各分区のガバナー補佐からお誘い頂き、何カ所か参加することができ、色々参考になりました。各地区一つとして同じものはないと言っていい程、それぞれ地域の特徴を生かした個性的なIMでありました。

5分区や近隣の分区を回って、これからもっと考えていかなければと思ったことは、IMのフォーラムでも設問として取り上げられていた「会員増強について」でございませう。5分区内の各クラブも会員増強が思うように進められない。むしろ、会員減少を止めなくてはいけないという切実な問題と向き合っていました。具体的な案も挙がっていましたが、これからも考え続けなければならない問題ではないかと思ひます。

最後に、久木ガバナーの補佐に対する心遣いに、また、川村地区幹事には、いつでもすぐ連絡を取れるようにして下さり、その度対応して下さったことを感謝致します。お二人のお気遣いがあったおかげで同期補佐同士連絡を取り合い一つのチームのように活動できたと思ひます。お礼申し上げます。

今後の第2500地区各クラブの発展をお祈り致します。

1年間を振り返って



第6分区ガバナー補佐

松原 光一 (帯広北RC)

2021年10月の1回目のガバナー補佐研修から始まり約20ヶ月、ガバナー補佐として過ごしてまいりましたが、ようやく、肩の荷が降りた感じですか。いろいろな事がありましたが、とにかく何事もなく、無事に任務を全うできたと思ひます。その事が何よりです。

第6分区11クラブのみなさん、計4回ずつの訪問時には本当にお世話になりました。暖かく迎えていただき誠にありがとうございました。心より感謝致します。また、各分区のIMにお邪魔させていただいたおりに、分区を超えた各クラブの方々と美味しいお酒をいただき楽しい時間を過ごさせていただけた事にも感謝いたします。ありがとうございました。とても良い経験をさせていただきました。(話は短めに！)

2500地区のみなさん一年間、本当にありがとうございました。

1年間を振り返って



第7分区ガバナー補佐

美馬 俊哉 (白糠RC)

RI 2500地区2022-23年度活動がすべて終了し安堵しております。

第7分区第1回会長幹事会の時に、お話しさせて頂いた言葉があります「一隅を照らすこれすなわち国宝なり」これは、天台宗 最澄の言葉だそうですが、自分自身が照らす場所、自分がまかされた場所、その場所を明るく照らす人こそその宝であるという意味だそうです。今年度の会長幹事さんが、「それぞれのクラブを任せ、そのクラブを輝かせてくれると思っています。」とお話しさせて頂きました。まさに、今年度の会長幹事さんは、その言葉通りに輝いて見えました。

7月のスタート1週目は、第7分区各クラブ会長幹事一同で各クラブの第一例会に表敬訪問し、2週目は、ガバナー公式訪問・各クラブ船出式などなどロータリー活動が大変だったと思いますが、今となってはとても良い思い出です。その訪問の最後に、「スタートして忙しい毎日でしたがとても楽しかった。しばらく皆さんと会えないのが寂しいです」と南RC菊地会長から言ってもらったことがうれしく今でも忘れられません。他に意地悪な会長幹事さんからIMは、白糠開催にと言われ戸惑いもありましたが、今思えば、優しい思いやりだった事を感じました。他にも、まだまだ沢山ありますが、今年度の会長幹事さん、第7分区各RCの皆さんには、大変お世話になりました。

◎第7分区事業報告

◆全道中学親善硬式野球大会 (12回目)

日程 2022年7月30~31日 会場 釧路工業高校・湖陵高校 各グランド
ホストクラブ 釧路ロータリークラブ
参加チーム10クラブ 優勝 小樽リトルシニア 準優勝 日高リトルシニア

◆第7分区 IM

日程 2023年5月13日(土) 会場 白糠町社会福祉センター
ホストクラブ 白糠ロータリークラブ・音別ロータリークラブ
登録数313名 当日出席数 146名(内アクト3名) 来賓5名 合計151名

◆ロータリアン・マスターズゴルフ大会

日程 2023年5月21日(日) 会場 釧路カントリークラブ 東コース
参加者 40名 ホストクラブ 釧路西ロータリークラブ
寄付先 釧路北ローターアクトクラブ
本年度優勝 釧路東RC 大塚 祐司 君(次年度ホストクラブ)

◆飲酒運転撲滅及び交通事故防止キャンペーンパークゴルフ大会 (第14回)

日程 2023年6月3日(土) 会場 阿寒丹頂の里パークゴルフ場
参加者 28名 ホストクラブ 釧路ベイロータリークラブ
寄付先 釧根地区交通育英会 交通遺児奨学基金
2008-2009年度(第1回白糠開催)より寄付回数15回
本年度優勝 釧路北RC 多田 洋平 君

1年間を振り返って



第8分区ガバナー補佐

佐野弥奈美 (中標津RC)

出来の悪いガバナー補佐の私を見捨てずに最後まで温かく見守ってくれました、久木ガバナー、川村地区幹事、地区役員の皆様、第8分区の各クラブの皆様、中標津ロータリークラブのメンバーには深く感謝申し上げます。

今回、受けてから初めてのガバナー補佐会議に出席したときに、まず場違いなところに来てしまったという感じがしておりました。皆さん素晴らしいロータリアンのなかで、一人だけ何の活動もしていない私が入っているのかと思いました。でも、皆さんの温かいサポートのおかげで、一年間なんとか終了することができました。

素晴らしい仲間にも出会えて、今回のような機会を与えてくださったことに感謝しています。同期のガバナー補佐のおかげで各分区にもお伺いすることができましたし(残念ながら全部はいけませんでした)楽しく学びながら過ごすことができました。

最初の不安は何だったのかと思うくらいあっという間の一年だったと思います。ただただ、感謝です。本当に一年間ありがとうございました。

1年間を振り返って



会員増強委員会

委員長 **邵 龍 珍**
 (釧路RC)

2022-23年度、ジェニファー・ジョーンズRI会長は、「異なるユニークな新クラブ、特に新しいクラブモデルを受け入れる事はロータリーの成長に不可欠です。」と仰いました。

久木ガバナーは地区活動方針で「新クラブ設立に向けた準備をしましょう」と掲げられました。

私は、地区内各クラブが様々なイマジン（想像）のもと、会員増強と維持（退会防止）の活動に取り組む初年度にして頂きたいと思い、1年間努めてまいりました。

取り組んだ事は一つでした。地区内の各クラブが過去にどのような活動を行い、どのような環境の中でクラブ運営を頑張り、今年度はどの様に活動を行ったのかを地区内で共有したいと思い、webを活用して「地区内会員増強zoom会議」を上期・下期それぞれ1回、計2回、開催させて頂いた事のみです。

何故、zoom会議を開催したのか？皆さんご存じのように我々2500地区は日本最大と言っても過言では無い広大な地区です。

8区分分かれています、その区分内の各クラブが現実的にどのような活動を行い、どのような苦境の中でクラブを維持しているのか等など、残念ながら余り知る事が無かったと思います。私自身がそうでした。更に言えば、区分内のクラブ間においても、お隣のクラブの活動現況を知る事が少なく無いでしょうか。

私自身、個人的に大変興味があり、上期は8月5日(土) 第5区分を始め9月17日(土) 第2区分に至る、各区分ごとのzoom会議をさせて頂きました。

会議開催にあたりガバナー補佐、皆様方には大変ご尽力頂き、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。誠に有難う御座いました。

さて上期・会議では、コロナ禍でここ数年大変な中、過去を含めどのような会員増強・維持の活動を行ったのか、そして今年度の会員増強の目標を各クラブに掲げて頂きました。

上期・会議のご報告については、去る2022年12月20日に提出させて頂き、地区内各クラブ様へ送信させて頂いたと思います。

下期・会議では、区分の「垣根を超える」意味で地区内2つの区分ごとに分けて、本年5月27日(土)に第4・第7区分、5月28日(日)に第1・第3区分、6月3日(土)に第2・第6区分、最後に6月4日(日)第5・第8区分の順でzoom会議を13時から15時半まで休憩なく開催させて頂きました。

下期・会議では、今年度1年間の成果（会員数の増減）や各クラブの課題などを共有できた事が今年度地区会員増強委員会活動の最大の成果だったと思います。

今年度は久木ガバナーのリーダーシップ、そして何よりも地区内各クラブ皆様のご尽力により、年度始めより地区内会員数が40名増加、女性会員も22名増加致しました。

世界的にも数年ぶりにロータリアン人口が120万人に戻った年度となりました事、ご報告させて頂きます。

結びになりますが、上期・下期zoom会議にご参加頂いた皆様、何よりも会員増強・維持に努めて頂いた地区内全ロータリアンの皆様方に改めて心から感謝申し上げ、私からのご報告とさせて頂きます。1年間、誠に有難う御座いました。

1年間を振り返って



オンツーメルボルン委員会

委員長 落合 弘行
(旭川西RC)

まずはメルボルン国際大会に多くの2500地区の会員にご参加いただき誠にありがとうございました。

私の主観で1年間を振り返りますとコロナ明けの世界大会に参加する人数の見当がまったくつかず、とりあえず目標は30名にしましたが、ツアーの企画にしても皆様へのご案内にしても旅行代理店との交渉にかなりの時間を要してしまい後ろ倒しになってしまったと反省しております。ですが、今回地区内の登録者は同伴者を含んで49名となっており地区内の会員の皆様の関心も高かったことが伺えました。また国際大会開会式の夜にはメルボルン市内で地区ナイトを開催しましたが、そちらにも皆様にご参加いただければお酒を飲みながら楽しい時間を過ごせてとてもよかったです。

私自身はじめての世界大会に参加をしてとても勉強になりましたし、たくさんの皆さんと親睦を深められて非常に良かったと感じました。また遠い異国の地でしたので文化の違いや観光も楽しめこちらも併せて楽しめました。

わからないことだらけでしたが、皆様のサポートのお陰でなんとか乗り切れました。感謝申し上げます。



1年間を振り返って



公共イメージ向上委員会

委員長 渡辺 喜代美
(帯広RC)

国際ロータリー初の女性会長ジェニファー・ジョーンズが世界の地区ガバナーに向け2022-23年度会長テーマ「イマジン ロータリー」を発表し、2500地区初の女性ガバナー久木佐知子氏が「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」を地区スローガンに掲げ一年間精力的に活動されたことは、地区の女性会員はもとより、地域社会におけるロータリーの公共イメージを大きく変化させ、各クラブの会員増強に貢献させていただいていると確信するところであります。

久木ガバナーのリーダーシップのもと開催された地区大会での会員研修セミナーでは「2500地区の現在・過去・未来を語る」として、石平清美（地区米山奨学委員会委員長・富良野RC）、佐野弥奈美（第8分区ガバナー補佐・中標津RC）、田巻順子（北見RC会長エレクト）、平野知子（釧路ベイRC・親睦活動委員会）、廣岡輝恵（地区財務委員会委員長・旭川西RC）がパネルディスカッションを実施、2023年3月、2750地区2018-19年度ガバナーの服部陽子氏に講演いただき、輝く女性たちへ「Lady Go」と題して女性セミナー開催させていただき、地域社会で活躍される各界の女性たちとの交流の場を持つことができました。ロータリーの未来を創造するため、久木ガバナーのもと展開してきた事業の一つ一つが花開くことを願って、一年間の活動報告とさせていただきます。地区会員皆様のご協力に深く感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



1年間で振り返って



広報・地区IT推進委員会

委員長 渡邊正俊
(北海道2500 REC)

「ITを利用しましょう」地区活動方針として、その一言から始めさせて頂きました、2022-23年度の地区委員長としての活動は、大変申し訳ありませんが、反省点ばかりのカタチの残らない活動となってしまいました。

コロナ禍を経験したロータリアンの皆様の動きの予測が立てづらく、多くのクラブ様がITの利用状況を確認する間もなく、通常の例会開催へ向けて舵を切られていたと感じます。

ロータリークラブはやはりリアルで親睦し語らう場なのだと強く感じた一年でした。

地区協議会においては、ITを利用したロータリークラブの活動の可能性に触れるお話をさせて頂く機会もありましたが、2023年～2024年度に向けて、鶴見ガバナーの方針として、当委員会【広報・地区IT推進委員会】の終結を聞き、終結する委員会としてどのような活動が出来るのか？という事に悩んでおりました。

2023～2024年度は、ロータリー公共イメージ向上委員会と言う委員会へ引き継がれるようですので、看板は違えど広報・IT推進活動を続けて頂ければと思います。

最後になりますが、IT技術の発展は皆様も知るところとは思いますが、日進月歩の進化を続けています。古き良きモノを大事にする事と、新しい技術やIT情報網を使う事は反対の事ではないと考えます。

古き良きモノを活かす為の新しい技術を模索する事が、ITの推進につながる事だと思います。

昔SF映画や特撮、アニメーションで未来の技術として子どもや大人の好奇心を刺激してきた多くの技術は、その多くがすでに実現しています。

また、今現在も同じように日々新しい技術を研究する方が、世界各国にいらっしゃいます。

まだまだIT技術は進んでいきます。広報と言う人に広げ報せる技術もそれに伴って多種多様になっています。今現在利用されているようなSNSは、もう古いプラットフォームになって来るかもしれません。

これからの技術革新を楽しみながら、上手くロータリー活動と融合させて行けるシステム作りが必要になる時期が来ると思っております。

世界各国の多くの人にロータリークラブを知って貰い、その奉仕の精神を広げていきましょう。

最後に

2022～2023年度におきまして、地区委員長と言う大変貴重な経験をさせて頂きました、久木ガバナー並びに地区役員の皆様、所属する北海道2500ロータリーEクラブのメンバー、また地区内全てのロータリアンの皆様に感謝いたしまして、末筆の言葉とさせて頂きます。ありがとうございました。

1年間を振り返って



青少年交換委員会

委員長 **駒形 貞洋**
(旭川東RC)

先ずは日頃より青少年交換事業また地区新世代交換事業に、ご理解とご協力をいただき改めて感謝申し上げます。

今年度（2022-2023年度）青少年交換プログラムは、当地区は休止となっております。3年連続で派遣学生も受入学生もない状態です。次年度（2023-2024年度）は交換が再開予定で進んでおります。交換学生（派遣、受入両候補者）が決定し、派遣候補生は、面接を経てオリエンテーリングも終えて、現在は8月の渡航に向けて、英会話の勉強をつづけながらビザ申請と航空券の手配の段階まで準備が進んでいます。もうすぐ交換学生用のブレザーも届き渡航準備も本格的になってまいります。本年度派遣学生は、紋別RCのスポンサーにより紋別高校の米田くるみ様が米国オハイオ州に派遣予定です。また9月には同じく米国オハイオ州よりロバート・ウォルター・リビツキ様が来日予定です。10月の地区大会には皆様に挨拶できる事と思います。よろしくお願い申し上げます。

今年度の活動では、6月10、11日両日新潟市で開催されました国際ロータリー日本青少年交換研究会・新潟会議に参加してまいりました。全国より各地区のガバナーと共に交換委員長危機管理委員長が集い、また多くの交換学生、交換候補生、ローテックス（帰国学生）が集まり基調講演はローテックスとボランティアを實踐している候補生のディスカッションはロータリアンを凌駕する行動力に脱帽しました。また彼女達を陰日向に支える皆様に感動をいたしました。来日中の交換学生のスピーチは10カ月前には日本語がほぼ解らなかつた生徒が、流暢に交換生活を語る驚異のスピーチ力に再び脱帽しました。来年は当地区の学生を連れて交換研究会に参加したいと思います。

また来期交換事業再開に向けて候補生のオリエンテーリングを6月25日紋別にて開催しました。候補生と共に父兄にも参加いただき、渡航に向けての準備と共に渡航先での注意点や禁止事項の件など研修を無事に終了しました。あとはビザが降りるのを待って渡航の準備に入ります。8月末にはアメリカに旅立つ予定です。

最後に引き続き次年度も委員長として青少年交換事業を進めてまいります。次年度プログラム再開に向けて、引き続きスポンサークラブの募集や、各クラブに事業のご理解、ご協力いただけますようにPRを続けてまいりたいと思います。クラブの卓話やZOOMによるスピーチなどお話しさせていただきたいと思いますので、ご検討、お問い合わせをお待ちしております。引き続き青少年交換活動にご理解、ご協力をお願い申し上げ今年度の活動の報告とさせていただきます。

1年間を振り返って



インターアクト委員会

委員長 吉川 裕二
(旭川北RC)

国際ロータリー2500地区には現在11のインターアクトクラブがあり、以前は短期海外研修を開催していましたが、コロナ禍につき中止し、インターアクト地区大会についても多人数が集まることによる危険回避の観点から中止しました。

上記のようなコロナ感染症の流行環境下においても各校のインターアクトクラブの顕著な活動があるところについては、地区インターアクト委員長推奨事項として、地区内のロータリークラブに、卓越したインターアクト・プロジェクトを表彰すること、地区レベルで表彰または賞の授与を行うよう奨励しました。

ロータリー賞（インターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰する。

2020-21年度より、20の目標のうち、少なくとも11を選択し、クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができ、クラブはロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができる。認知度の向上 「世界インターアクト週間」（望ましくはインターアクト創立記念日である11月5日）に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝えるなどを促しました。

2023年3月28日RIよりインターアクトクラブは、毎年顧問（アドバイザー）の報告することが義務づけられており、2500地区内のインターアクトクラブの一部に報告が確認出来ない旨の連絡があり、11クラブのスポンサークラブを通じて再登録又は修正を行うようお願いしました。同時に地区ガバナー事務所にも顧問（アドバイザー）の名前、メールアドレスの提出をお願いしました。

インターアクトクラブの活動は、この3年間コロナで対外的な活動はほとんどできておらず、校内活動が主になっているところが多いと聞いておりますが感染状況が落ち着いてきましたので次年度に向けて活動が広がることを願っております。

1年間を振り返って



ライラ委員会

委員長 下元陽司 (北見RC)

この度、北見RCがホストクラブとして「第40回ライラセミナーIn北見」を昨年9月3日～4日に開催予定でしたが当時の新型コロナ過による感染症拡大防止のため開催をやむなく中止となりました。これまでご協力を頂きました関係する皆様方には本当に申し訳なくお詫びを申し上げます。

当該前年度に久木ガバナーエレクトよりライラ委員長の拝命を受けて正式に北見RCがホストクラブとして決定した時のことを思い浮かべます。私自身も過去にライラセミナーの担当として何度か参画した経験があり、ライラの素晴らしさと効果は身に染みておりましたし、RCの継続事業として重要な位置づけであると実感しております。

2021-2023に予定していた紋別開催が同じく感染拡大の懸念を受けて中止となり当時のホストクラブ紋別RC様の想いを引き継ぎながら北見開催を創造しておりましたが結果、残念ではありません。私の支えとして雄武RC橋本副委員長、枝幸RC今野副委員長、北見RC青山委員には本当に申し訳なく私の力不足を痛感しておるところです。今更ではありますが、当時の北見開催は「つよい絆で新時代を切り拓く」をテーマに現在の社会人一年生から責任世代に突き進む若手社員たちに「負けなつよい心」の学びを得ていただける為の構想であり、北見市の開拓に一躍した、北光移民団、屯田兵の先人達が未来の豊かな社会の実現に向けた志を今の若者にインパクトを与え活躍する一助となればと考えておりました。当該年度に果たせなかった想いは本年度リベンジで北見の地で開催いたします。当クラブの主藤ライラ委員長の壮大なバイタリティーと力強いリーダーシップでホストクラブ北見RC一丸となり、第2500地区の皆様をお招きし心に残る「第40回ライラセミナーIn北見」となることをご期待いただきたく何卒宜しくお願い致します。

最後に2022-2023久木ガバナー年度でお力になれなかった事を深くお詫びしますこと、またご協力を賜りました皆様に熱く感謝を申し上げます私からの御礼と致します、1年間ありがとうございました。

RI第2500地区 2022-2023
ロータリー青少年指導者育成プログラム
ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARD

大きな夢を実現! つよい絆で
新時代を切り拓く!!

第40回 ライラセミナー in 北見
2022.9.3(土) ▶ 9.4(日)

メイン会場
北見モイスポーツワールド ☎0157-37-2244
北見市美園369-1 <https://kitamikusya.jp/moisportsworld/>

Rotary ホストクラブ・北見ロータリークラブ
主催 / 国際ロータリークラブ第2500地区

RI第2500地区 2022-2023
ロータリー青少年指導者育成プログラム
ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARD

プログラムスケジュール

● 1日目 / 9月3日(土)		● 2日目 / 9月4日(日)	
12:00~13:00	登録・受付	8:00~9:55	全体ミーティング・感想文執筆・提出
13:10~13:55	開校式	9:55~10:25	グループ意見発表
15:00~15:50	視察	10:30~11:30	開校式
16:30~18:00	基調講演	12:00~	解散
18:00~19:20	グループディスカッション		
19:30~20:30	懇親会		

基調講演

講師 柳谷 卓彦氏 (北網圏北見文化センター学芸員)

1960年3月11日、北見市生まれ。東京農業大学農学部林学科卒業。学芸員として北網圏北見文化センターに勤務し38年。常呂川流域の自然と風土を解き明かす地域博物館を志向し、資料館の都本中心に「北見資料(コンプレックス)」を整備し、これらの情報を地産地消推進型多様性推進機構(BIP)に提供し、市民にとまらず人類の知的財産づくりに貢献する。2019年から東京農業大学オホーツクキャンパス非常勤講師も務める。

1年間を振り返って



ローターアクト委員会

委員長 中川 雄 策
(稚内RC)

2019年の規定審議会でローターアクトについて大きな変更が決定して以降、各ローターアクトクラブは卒業年齢変更を議論し、定款と細則を変更、RI加盟とアクター身分の変更、人頭分担金納付準備、情報が少ないなかでこの数年間はこれらの対応に追われました。

追い打ちをかけるように新型コロナウイルス感染拡大により奉仕活動ができない状況が続きましたし、クラブ例会を休止せざるを得ませんでしたから、地区行事も中止やオンライン開催であったため若者らしい行動力を発揮できる機会がありませんでした。

このような状況で迎えた2022-2023年度は、地区協議会を富良野・エリア会議を旭川・地区大会を美幌でリアル開催し、待ちかねていたように地区内外から多くのアクターが参加してくれ、大いに盛り上がりました。開催地の提唱ロータリークラブのバックアップがあればこそだと感じております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

私は、ローターアクト委員を2年間・委員長を2年間 務めさせていただきました。

前述させていただいたように変化が激しい期間でしたので、ローターアクト委員とアクト地区役員のみなさんに相談し、意見をいただきながら何とか勤め上げることができました。またガバナー事務局と地区幹事様には何かとご相談させていただきました。提唱クラブの担当委員長のみなさんにもご協力いただきました。関わっていただきました全ての方々に心から感謝申し上げます、ありがとうございます。

アクター達は、集合開催するからこそ若者たる長所を発揮し、その場の雰囲気は彼らを成長させる要因になると思います。クラブ内での奉仕活動はもちろん、地区行事を運営・そのための打ち合わせを行うことはアクトクラブに所属していなければ得られない経験です。

ローターアクトは、未来のリーダーを育てるための青少年奉仕プログラムではなくなりましたが、ロータリークラブは彼らに成長をもたらす機会を提供することが必要です。そのことがロータークラブの発展と永続に繋がると感じています。

ロータリアンの皆様には、より一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。活動報告といたします。

一年間ありがとうございました。



1年間を振り返って



社会奉仕委員会

委員長 **野村文吾** (帯広RC)

委員 秋穂 智久 (根室) 平尾 雅子 (音更)
 黒滝めぐみ (旭川東北) 有澤 秀幸 (清水)
 金田 剛 (釧路西)

今年度、いよいよコロナが終息し、積極的に活動していく考えで委員会活動を進めて参りました。

先ずは、予算の獲得であります。

これと並行して、委員会事業として活動する旭川地区の事業者さまとの打ち合わせであります。

予算獲得に関しては、4月の地区研修・協議会において関係者の皆さまと調整を図りました。

また、委員会事業の打合せに関しては、2月の「地区チーム研修セミナー」のタイミングで旭川を訪れてリアルに打合せをし、10月の「地区大会」の際にも打合せを重ね、加えて、「地区大会」では、委員会を開催し、次年度に向けても新たな体制を確認した次第であります。

さらには、今年に入り2月には名寄ロータリークラブから招聘を受けて卓話をさせていただきました。

さて、日本政府に目を向けますと、地方都市での人口減少を重要な課題と捉え、新たな政策「都市政策×交通政策」を、スピードを上げて推進し始めています。我々地方都市はこれらを速やかに理解して変革に挑み、サステナブルな街づくりを成し得なければなりません。

そこで、予算獲得の動きを加速させるために「全体構成図」をまとめあげたところ、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーで議論を重ねて頂くことに繋がり、地区委員会の事業として地区補助金を活用して進めようとの方針を示して頂き、4月に地区補助金の申請を済ませました。申請時期の関係から次年度に引き継いで、委員会事業を継続していく方向性であります。

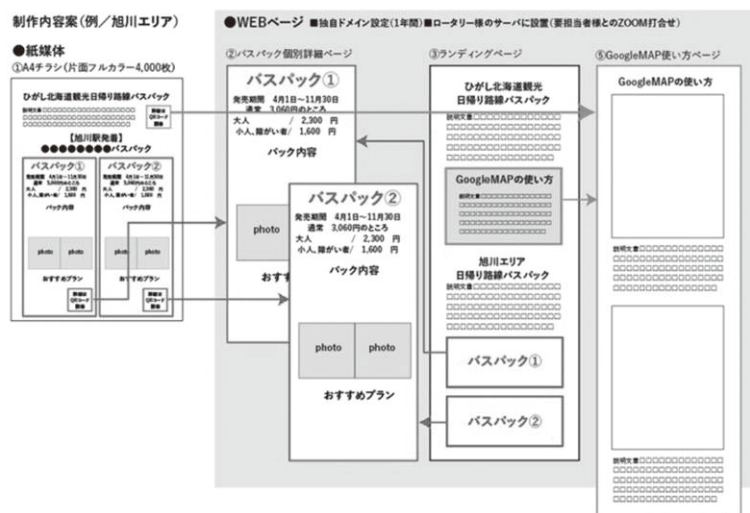
新たな事業ということもあり、自ら道を切り開いて行くには私自身の力が足りず、様々な方々のお力をお借りして、ようやく進めることができましたと感じています、心から感謝申し上げます。

この様に、次年度に引き継ぐ方向性ではありますが、私にとっては充実した一年となりました。

したがって、次年度においては、しっかりと成果を出したいと考えております。

最後になりますが、久木佐知子ガバナーおよび地区役員の皆さまのご指導と委員会の委員の皆さまのご協力に、心からの感謝を申しあげまして一年間の御礼に代えさせていただきます。

【全体構成図】



1年間を振り返って



職業奉仕委員会

委員長 丸 小 寿 幸
(稚内南RC)

早いもので職業奉仕委員長の職に着いて1年が過ぎてしまいました。

振り返ってみると、クラブ内では、比較的若い時からロータリークラブに入会させて頂いていたこともあり、委員長だ、幹事だ、会長だ、〇〇だと、様々な役割を与えられ、先輩ロータリアンのお力を借りながら様々な経験をさせて頂きました。しかし、地区に関しては、ほとんど経験がなく、しかも、職業奉仕はロータリーの金看板と言われている、職業奉仕委員長ということで、正直プレッシャーを感じておりました。

そのような中、ジェニファー・E・ジョーンズ国際ロータリー会長は年度のテーマを「イマジンロータリー」と発表され、2500地区久木ガバナーから地区のテーマは「ともに紡ごう！ ロータリーの未来へ」と発表されました。

では、委員会として何を行いたいと考えたときに、2500地区のそれぞれのロータリークラブで、どのような職業奉仕活動が行われているのか情報交換的なことができないかと考えました。

まだまだコロナ渦の中ではありましたが、世の中は、なんでも中止、もしくはオンラインから、気を付けながらリアルに変化してきました。

委員会は出来ればリアルで、委員会の皆さんと様々な情報交換、意見交換ができないかと思っていました。おかげさまで、委員会は2度リアルで開催し、様々な情報交換が出来ましたが、特に1回目の委員会開催にあたっては、私の所属する稚内南ロータリークラブに公式訪問において頂いていた時などに、久木ガバナーに超多忙な中、日程、会場などでお世話になり、今でも大変感謝しております。

また、アンケートの作成時には、委員会の方々は、メールや電話でコンタクトを取り、作成させて頂きましたし、実施に当たっては地区の川村幹事には様々な助言を頂き感謝しております。おかげさまで、66クラブ全てのクラブの皆様から頂き感謝に堪えません。

データ入力も委員会のPCの操作のできる方で手分けして行い、何とか集計まで行うことが出来ました。アンケート結果の公開の方法も、川村幹事にアドバイス頂き、各クラブにメールで発信し、更にガバナー月信に掲載もしていただきました。

アンケートについて、到らぬ部分が多々あるかと思いますが、今後の職業奉仕活動に多少なりとも参考にしていただければ幸いです。

1年間、職業奉仕委員長として活動させて頂き、その中で様々なロータリアンの皆様と知り合い、関りを持たせていただき感謝しております。

ありがとうございました。

1年間を振り返って



米山記念奨学会運営委員会

委員長 石平 清美
(富良野RC)

今年度はコロナ感染拡大も収束され、リアルなセミナーやイベントを開催されました。

応募、面接、選考と熱意ある奨学生が集まりました。米山記念奨学事業の特長は、“日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となり、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。” 事業の神髄には「世話クラブ・カウンセラー制度」があり、奨学生一人に、地域のロータリークラブより、世話クラブを選び、さらにカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かになるよう配慮して頂いております。ロータリアンとの交流を通じ、奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨き、人生観・職業観を高めます。金銭的な支援では得られない感動と、事業への深い理解が生まれ、さらなる支援への意欲を盛り立てております。今年度は1名の継続と9名の新奨学生を迎えました。初めての受け入れして頂いた世話クラブ様もあります。2500地区は広大で、大学所在地が偏っているため、66クラブ全てに奨学生の訪問が叶わないことが、委員会の課題の一つと考えております。

地区大会では、日頃の大学生活や、世話クラブ様とのかかわりをスピーチすることで、皆様に学生の声を聞いて頂いております。10月の米山月間にとどまらず、次年度は、奨学生を多くのクラブに訪問できる機会を作りたいと考えております。

今年度のセミナーでは、学友会・李アキヒロ氏の講演で、奨学生・高遠之君と交流できたことも有意義な時間でした。奨学生卒業後の道標になったようです。また旭川扇松園でのセミナーは、日本庭園に奨学生達が感動しておりました。

次年度の2500地区らしい受入を目指しております。皆様のご理解・ご協力に心より感謝し、次年度のどうぞ宜しくお願い致します。



1年間を振り返って



国際奉仕委員会

委員長 **足立 功一** (釧路北RC)

委員 **柴田 俊光** (釧路東) **坂巻 秀敏** (根室西)
池田 圭樹 (釧路ベイ)

国際ロータリー第2500地区会員の皆様、1年間の活動ご苦労様でした。

今年度私達は、ジェニファー・ジョーンズRI会長の下「IMAGINE」と言うテーマで、1年間さまざまな活動を行ってきました。

「IMAGINE」 皆さんは何を想像したでしょうか？ビートルズのイマジンでは、平和な世界、そして国境のない世界を歌っています。

私たちはより良く住みやすい地域の形成、平和な世界の実現をイマジンし、それに向かって力を尽くす多くの人たちと出会うことができました。

今年度の国際奉仕委員会は、世界各国から届くさまざまな奉仕活動の中から2点の事業に絞って実施致しました。

一つは、釧路北クラブがタイ王国、バンコクロータリークラブとのジョイントで行った

グローバル補助金事業で、タイ北部のチェンライ県にある15校の農村部に清潔な飲料水を提供することで1,815人の児童と168人の学校職員に直接恩恵を与える活動に参加致しました。この事業の目的は、安全で安価な飲料水への普遍的かつ公平なアクセスを促進し、病気の蔓延を防ぐために、コミュニティの衛生に関する知識、行動、習慣を改善する事であります。

二つ目は、久木ガバナーが月信でも報告しましたが、モンゴル3450地区のグローバル補助金事業で、モンゴル国立第一病院に前立腺レーザー手術の最新機器を寄贈しました。これはフレールRCと他の2クラブに、日本からは2580地区、2800地区、2500地区の3地区が参加し、クラブ単位では旭川モーニングRCが参加したプロジェクトです。ウランバートルの式典には、嶋村2580地区ガバナー会議長、当地区からも久木ガバナーが現地入りし、式典に参加しました。久木ガバナーの報告では「完成式典は厳かな中にも心のもった素晴らしいものでした。こうした現地視察を通して地域の現状を知るだけでなく、地域に貢献していることを肌で感じることができました」と話しておりました。

モンゴル・フレールロータリークラブのジャンチブ先生と私は、かれこれ10年以上のお付き合いになります。個人的には過去現地には4度訪問し、クラブとしても釧路北クラブが単独でウランバートルで2年間行った医療支援事業（モンゴル国立医科大学病理科、皮膚科、市内で開業しているすべての皮膚科医を対象とした皮膚病理学研修事業）を通して、また釧路北クラブが世話クラブとなったモンゴルの米山記念奨学生アマルさんとの付き合いなどで今は緊密な関係が続いています。ジャンチブ先生には旭川での地区大会で講演をしていただきましたし、アマルさんもホームカミング制度を利用して地区大会本会議でお話をさせていただきました。そのご縁でフレールロータリークラブの会員の皆様が釧路北クラブを表敬訪問して下さいましたことも懐かしく思い出されます。

このように国際奉仕事業は、相手国の文化・医療・生活・環境レベルを改善するのみならず、お互いの交流により国境のない世界を現実にも肌で実感する事業でもあり、世界平和に少なからず役立つものと考えます。

次年度も国際奉仕委員会の活動にご協力をお願い申し上げます。

1年間を振り返って



地区財団委員会

委員長 成瀬 則之
(網走RC)

第2500地区財団委員会は、ポリオ根絶、寄付ゼロクラブをゼロに、地区補助金・グローバル補助金活用と推進の三つを掲げて活動をしてまいりました。

まずはポリオの現状ですが、2023年6月20日現在、常在国の発症数は6例に留まっています。(アフガニスタン5例、パキスタン1例)。非常在国は発症をしていませんが、予断を許さない状況であることは疑う余地がありません。いずれにせよここはまずポリオワクチンの投与をできるだけ後押ししてポリオ根絶の確かな歩みをしつかりと進めるべきだと思います。アジア・アフリカ諸国を中心に現状以上の支援・援助を必要としている諸事情をも鑑みる背景を考えるべきではと思います。

寄付ゼロクラブをゼロに

2016～17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年に当たっており、年次寄付の寄付ゼロクラブをゼロにすることが使命となり、日本全国34地区すべてに厳命が下されました。その結果、寄付ゼロクラブは解消され、このことが契機になってこれ以降も継続して寄付ゼロクラブの解消を34地区一丸となって推し進めることとなりました。2017～18年度(成瀬年度)、2018～19年度(細川年度)、2019～20年度(吉田年度)、2020～21年度(松田年度)、2021～22年度(漆崎年度)まで、寄付ゼロクラブは解消してきましたが、2023年6月15日、飯村RRFCのメールにより久木年度も寄付ゼロクラブになりました。これは偏に2500地区会員お一人お一人が年次寄付のもつ重要性や大切さを弁えていたからこそ為し得た事ではないかと強く思いました。

地区補助金・グローバル補助金活用と推進

さる6月20日(日)旭川市に於いて補助金申請会議が招集されました。文字通り補助金を決定する大切な事案です。まず、各クラブが補助金申請書を各分区のガバナー補佐に提出するところから始まります。

*MOUは提出済みか? *申請書はもれなく記載されているか? *申請時の規則事項にあてはまらないか? *利害の対立に関する方針にあてはまらないか? *見積書は添付されているか? *関連資料は添付されているか? *完成予想図は添付されているか? 等々。

一つ一つの文章表現は勿論の事、作文中の背景、ロータリーの必要である事、その他色々な角度から検証することで、それも地区補助金チーム全員でそれぞれこそ微に入り細を穿つとはこのことなのかというくらいに議論を重ねて、導き出した結果が19のクラブ、地区の案件3件の補助金として決定をみることが出来ました。地区補助金チーム全員のチームワークとどんなことを見逃さない眼力によってのみ解決できると信じひたむきにそれをこなしているメンバー達のそれこそ疲労困憊状態を見ているとこちらもこれは真剣勝負をしているかのようでした。今回は地区補助金チームを取り上げましたが、グローバル補助金チーム、奨学金・学友チーム、ロータリー平和フェロシップチーム、VTTチームなど、財団委員会の構成メンバーは常にメンバー間の切磋琢磨により財団委員会全体像を解釈して、専門分野の知識を十二分に生かした個性派の集団に特化していると思われまます。

財団委員会のメンバー構成を紹介し、総括を閉じたいと思います。

財団委員会 委員長 成瀬 則之（網走） 副委員長 本間 公三（網走）

* グローバル補助金チーム

リーダー 行木 隼人（音更）、尾崎 優子（音更）、荒井 剛（釧路）、水戸部茂則（豊富）、
泉谷 勇（士別）

* 地区補助金チーム

リーダー 工藤 一則（帯広北）、渡部 徳章（北見東）、小澤 慎司（弟子屈）、
田中 康郎（紋別港）

* 奨学金・学友チーム

リーダー 山川 国土（旭川東）、坂井 弘明（美深）、半澤 佳間（富良野）、
乾 淳（遠軽）、益子 裕之（帯広東）、田野竜之介（釧路北）

* ロータリー平和フェロシップチーム

リーダー 東海 林勉（遠軽）、堂山 啓太（帯広西）、杉山 範雄（音別）、坂本 夕樹（音更）

* VTTチーム

リーダー 小沢 昌博（帯広）、宮出奈美枝（旭川空港）、後藤 義信（釧路ベイ）、
松田 英明（帯広南）

* リソースとサポート委員会

委員長 本間 潤（旭川西）、加藤 勤也（浜中）、玉垣 範夫（釧路東）、堂山 啓太（帯広西）

以上今後とも宜しくお願いを申し上げます。

1年間を振り返って



補助金小委員会

委員長 **本間 公三**
(網走RC)

2022-2023年度は、ローターアクトクラブの地区補助金とグローバル補助金への申請が可能となった年となりました。

ただ、グローバル補助金に関しては、ロータリークラブと同じ条件の下で、とはいかず、過去に地区又はロータリークラブと協力してグローバル補助金事業を実施した経験が必要となります。この基準の認定は地区ロータリー財団委員会が行う事となっていますので、ローターアクトクラブと協力して、グローバル補助金事業を実施する場合は、必ず地区ロータリー財団委員会へ連絡をお願い致します。現在のところ2500地区では、ローターアクトクラブがグローバル補助金事業に関与した情報は得ていませんので、制度としては申請できる様になりましたが、現実的には申請できない状態です。

地区補助金に関しては、久木年度11月の「補助金管理セミナー」へ出席したローターアクトクラブがあり、3月末日までに「MOU」も提出され、計画書も期日内に提出されましたので、地区補助金チームが内容をチェックし、6月24日（土）開催の「地区補助金申請会議」で承認を受け、国際ロータリー財団へ提出済となっています。ですから鶴見年度で2500地区として初めて、ローターアクトクラブの地区補助金事業が実施されることになると思います。

さて活動計画書の中で、2026年6月末日までに現在繰越しているDDFの残額をゼロにしなければ、最悪の場合、残っているDDFは全額WFへ組入れられる、との現状をお伝えし、久木年度で9万ドル（繰り越し金取崩額3万ドル）程度の事業を実施したいと考えていましたが、今年度はクリアする事が出来ました。今年度のDDFの利用状況は下記の通りです。

今年度シェア分（地区補助金以外のDDF）	6万ドル
DDFを使用した事業	
災害救援基金への寄贈	5万ドル（一般 シリア・トルコなど）
	2万ドル（ウクライナ）
	1万ドル（パキスタン）
グローバル補助金（4件）	5万7千ドル
ポリオプラス（地区）	3万ドル
計	<u>16万7千ドル</u>

2022-23年度 期首繰越額	15万7千ドル	(期末繰越額 5万ドル)
基準年（2020-21年）からの繰越残高	8千ドル	
2021-22年度の繰越額（1年分）	4万2千ドル	計 5万ドル

以上のように基準年の繰越残高は8千ドルとなりましたので、達成可能な金額となりました。また2027年6月末日期限のDDF4万2千ドルに関しても、充分使い切る事が出来ると確信しています。一年間ご支援を難うございました。

1年間を振り返って



リソースとサポート委員会

委員長 **本間 潤**
 (旭川西RC)

年度当初の計画にて「海外奉仕事業における現地調査及び事業終了後の完成検証時の旅費の一部を支給し、海外奉仕を行う各クラブの支援を行う。」また利用可能なリソースに付いて各クラブにお伝えし、各クラブで検討・計画している国際事業を支援するとしていました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大も終わりが見え始め 海外旅行なども賑わいを取り戻して来ました。その事からも、海外奉仕事業の立案をされているクラブ様も多くなっている様にも感じて参りました。

海外で展開する人道的分野の事業は事業本体にかかる費用が巨額になるだけでは無く事前調査の重要性は勿論の事、事業進展状況の把握・事業完成時の検証等が必要となってきます。

国際奉仕事業を行う各クラブの活動支援を行う委員会として認知度を高める広報が、まだまだでありましたが 今年度国際奉仕事業旅費申請をされ事業展開された2クラブを紹介いたします。

・旭川西ロータリークラブ

(基本的教育と識字率向上)

事業目的 カンボジア幼稚園建設（開校式への出席） 幼稚園が全く足りない現状があり、幼稚園校舎を建設し寄贈を行い州教育局との協業により教育の機会を持ってもらい問題解決の一助とする。

開催場所 カンボジア

開催日時 2023年2月12日 参加人数 8名

・帯広ロータリークラブ

(水と衛生)

事業目的 GG2015246事業の実施内容の確認及びハンドオーバーセレモニーの開催。

開催場所 マレーシア

開催日時 2022年9月24日 参加人数 4名

まだまだ認知度の低い補助金ですが、各クラブ様の立案される国際奉仕プロジェクトのお役に立てればと思います。

1年間を振り返って



グローバル補助金チーム

リーダー 行木 隼人
(音更RC)

ロータリー財団委員会の傘下の一つとしてその職務を担っているグローバル補助金チームはグローバル補助金を活用した地区、クラブのサポートとして地道に活動しております。チームとしては実施国タイ3330地区やマレーシア3300地区の財団委員長やグローバル補助金担当のロータリアンとメールのやり取りをする際に全員がその内容を把握できるように取り計らったこと、グローバル補助金事業の第1責任者や第2責任者になってもらうことで、少しでも補助金に対する理解とその流れを理解してもらう環境を作ることができたことでしょうか。

コロナの規制が厳しい中、ワクチンを3回打ったことにより個人的には活動範囲が広がり、遠くに感じた世界がまた身近に感じる事ができた年度でした。9月に帯広RCとマレーシア3300地区アンパンRCとで



行った現地原住民居住地域への個別家庭に浄水タンク設置プログラムの視察では、久々に人が高床式掘立て小屋で生活する様子を見ました。生活様式の格差をすごく感じました。

上水道が今回の補助金事業で充実しても（とは言っても我々から見たらそれはそれは許容できるものではない代物です）、トイレは昔の田舎の圃の青空バージョンとまだまだ改善の余地があり、次の補助金事業のターゲットとなりそうです。

また、3月には3330地区で行った2つの補助金事業を地区大会参加した際に視察してきました。自動救急蘇生機、睡眠時無呼吸症候群の人のための診断関連機器の提供（詳細はガバナー月信5月号参照）は当地区のそれぞれの事業は実施国では大変重要なものだと思いますが我々援助国側としてやりたいことと若干開きがあり、そこは次年度の検討課題として改善していくことが必要とされることでしょう。

コロナ禍が開けた今年はグローバル補助金チームが新たに動き出し始めた最初の年であり、次年度の活動がますます活発になる気配を感じさせる年でもありました。

1年間を振り返って



補助金小委員会・地区補助金チーム

リーダー 工藤 一則
(帯広北RC)

2022-23年度を振り返ると、ロータリー財団の寄付は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて「人道奉仕プロジェクト」「奨学金」「職業研修チーム（VTT）」の活動を支える補助金に変わります。

年次基金の寄付は、地区財団活動資金（DDF）と国際財団活動資金（WF）に分けられ地区は寄付の3年後にDDFを、クラブや地区のプロジェクトの為に活用出来ます。DDFの半分までは地区補助金として使用でき、残りをグローバル補助金の申請、ポリオプラス・ロータリー平和センターの支援・他地区（災害）への寄贈・支援のために使用できます。新たな動きとしてグローバル補助金はロータリー財団管理委員会が資金モデルを変更し、需要と供給のバランスを図ることを目的としています。近年補助金申請のクラブ数や申請金額が増加傾向にありますが、皆様に使っていただきたい補助金として、活動しました。

当年度の地区補助金事業については、申請限度額が\$57,571（¥7,829,656円）14のクラブ事業と2つの地区の事業に分配しました。

2022-23年度の補助金チーム活動

- 11月中旬 地区補助金管理セミナー
- 3月末日 MOU（覚書）提出期日
- 4月末日 事業申請・書類等 提出期日
- 5月末日 ガバナー補佐チェック期日
- 6月初旬 地区補助チーム精査会議
- 6月中旬 財団オンライン申請
- 7月初旬 財団より全事業承認
- 8月中旬 クラブ送金・事業開始
- 翌年6月 プロジェクト報告申請

ここ近年、コロナ禍の為、事業を中止したクラブや事業計画に難しさを唱えたクラブもありました。各クラブも大変な思いをしながら、事業を完了されたかと存じます。

尚、ロータリー財団から、地区に振込まれた地区補助金の残高（中止事業）は、全て返金させて頂きました事を報告申し上げます。

2022-23年久木年度を担当させて頂き、久木ガバナー・川村地区幹事・嶋岡地区事務局員・成瀬財団委員長・本間財団副委員長・補助金チームメンバーには、大変お世話になり、感謝申し上げます。1年超に渡る期間は長すぎる面も感じますが、次々と展開があり、あつとの間に、次年度の準備が始まります。次年度も地区補助金チームメンバーと共に、頑張っていきたいと思っておりますので、お力添えを何卒宜しくお願い申し上げます。

1年間を振り返って



ロータリー平和フェロシップチーム

平和は力では保たれない。平和はただ理解し合うことで達成できるのだ。
(アインシュタイン)

リーダー **東海林 勉**
(遠軽RC)

ロータリーでは、2002年に始まった10年先のリーダー育成のための平和フェロシップ（奨学金）を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を今日まで約1600名輩出（日本からは38名の卒業生と1名の予定者）、平和推進の世界的ネットワークを築いています。

現在、世界で8つの大学に7つの平和センター（1つは2校で共同運営）があり、毎年130名までのフェローが厳しい審査を得て選ばれ就学しています。

2023年1月、国際ロータリー管理委員会はトルコのイスタンブールにあるバチェシエヒシュ大学（Bahçeşehir University）を、次のロータリー平和センターのホストパートナーに選出しました。

2024年2月からは、同大学で学ぶ修了証プログラムの最初の申請が開始され、2025年1月までに第一期生を受け入れる予定ということです。

一方、残念ながらタイのチュラロンコン大学のロータリー平和センターが2023年8月に閉鎖されることになりました。

「当地区からロータリー平和フェローを送り出そう」ということで、候補者募集のため、2月、地区内各クラブへメールで案内しましたが、当初の周知不足もあり、応募はありませんでした。

1. 先進地区に学ぶ；

推薦者を多く輩出している地区は東京、神奈川、埼玉、千葉にある6地区。特に東京都三鷹市にある国際基督教大学（ICU）には日本唯一のロータリー平和センターがあり、運営サポートや平和フェローを受け入れるホストエリア連絡協議会が6地区内各ロータリークラブで設立されています。

ICUでは2002年より毎年10名の平和フェローが入学（2年間就学）、毎年6月、ロータリー平和センター年次セミナーとして同大キャンパスにある東ヶ崎潔*記念ダイアログハウスで、卒業時に研究発表があり、終了証書が授与されます。（*＝日本から最初に選出された1968-69年度RI会長）

昨年は第20回ロータリー平和センター年次セミナーがハイブリット形式で開催され、その前段の同協議会主催の第5回ロータリー平和センターセミナーからオンライン参加しました。

本年は6月24日、午前中の第6回ロータリー平和センターセミナーにオンライン参加しました。同協議会が作成した「ロータリー平和センタープログラム紹介動画」（ショート版）が披露されました。

午後から第21回ロータリー平和センター年次セミナーの前半にオンライン参加しました。

2. 地域の団体や組織、特にRAC、IAC、JCと積極的に接触する；

認知度を深める計画でしたが、コロナ禍の影響等もあり、接触無し。次年度は実現したい。

3. ロータリー平和フェロシップ、平和センターの積極的情報提供；

地区財団委員会、地区協議会等でプレゼンテーション。ガバナー月信に寄稿。

※チームは2年間同じメンバーでしたが、1回も会議を開催できなかったことが残念です。

1年間を振り返って



資金推進小委員会

委員長 中居 詳 往
(稚内南RC)

RI2500地区の各クラブの皆様には、ロータリー財団への寄付の推進にご理解とご協力に大変感謝申し上げます。新年度のスタート時は新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻と世界情勢が著しく不安定なところからのスタートでした。そんな経済状況の厳しい中でも、皆様にはご寄付金をお願いしなければならず、とても心苦しく思います。しかしながら、財団活動を行なう上で皆様からのご寄付金が必要不可欠です。RI2500地区の皆様のおかげで目標でも有った寄付金「ゼロクラブ」も達成する事ができました。今後とも引き続き財団活動並びにご寄付金へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1年間を振り返って



ポリオ・プラス小委員会

委員長 佐野 弥奈美
(中標津RC)

詳しいこともわからないまま、ポリオプラス小委員会の委員長という任を受け、しかもポリオデーを担当することになり毎日が不安でした。

幸いにも、2510地区との合同で北海道全域でのラジオジャックという形で、慣れないラジオ放送にも参加させていただき、たくさんの経験と勉強をさせていただきました。

日本では身近な病気ではなくなったため、忘れがちになりそうになりますが、ポリオ撲滅のためにロータリアンが一つになって全世界からなくなることを願っています。

一年間本当にありがとうございました。



地区幹事退任にあたって

地区幹事 川村 寿裕
(旭川西RC)

久木佐知子地区ガバナー お疲れ様でした。

久木ガバナーにご指導いただき、地区幹事の任を終えることが出来ました。

久木ガバナーに同行させていただき、第2500地区内パストガバナーの皆さま、地区外のパストガバナーの皆さま、同期ガバナーの皆さまとお会いする機会を与えていただき、修練の機会とロータリーへの熱い想いを感じる機会を数多くいただきました。

更には、尊敬する8名のガバナー補佐の皆さまに暖かく接していただき、また、生意気にもロータリー談議にお付き合いいただき、ロータリー漬けの毎日を楽しんで過ごす事が出来ました。ご縁をいただきました全ての皆さまに感謝申し上げます。

一方、事務局を預かる立場としては、嶋岡事務局員共々、各クラブ会長・幹事様、事務局員様、地区委員長・リーダー様に知識不足から大変ご迷惑をお掛け致しました。申し訳ございませんでした。

北海道初の女性ガバナーとして、特別な年度を久木ガバナーは精力的に職務をこなされました。タイ国・韓国・モンゴル・メルボルンと異国の地、各地区地区大会への出席、ガバナー公式訪問、IM、クラブ周年式典、地区内事業…休む間もなく活動され、様々な情報を2500地区内ロータリアンにお伝えしてくださりました。

私宛のMailやLineの受信時間が午前様というのはざらで、昼夜逆転しているのでは？いや、いつ睡眠をとっているのだろう…と、久木ガバナーの健康を心配する事もありました。運転する車の後部座席で目を閉じられている姿をバックミラー越しに拝見し、2500地区のために頑張っていたいただき感謝の気持ちで胸が一杯になったこともありました。今後も、副ガバナーとして、ロータリーの友委員会・顧問、シンガポール国際大会推進チーム・第1地域担当として、お身体にご留意されながらのご活躍を期待しております。

久木ガバナー、行木グローバル補助金チーム・リーダー、荒井チームメンバーと参加したタイ国3330地区年次大会及び、GG視察は数多いロータリー経験の中でも記憶に残る日々でした。プールサイドのバーで、4人で語り合った夜は楽しい思い出です。是非とも公共イメージアップのデザインやGGツアーなど、実現したいものです。

2023年6月30日をもって久木佐知子ガバナー年度は任を解かれました。

久木ガバナーやご縁をいただいた皆さまと語り合ったのは、殆どが「明日のロータリー」についてでした。

「イマジン ロータリー」 特別な年度が当たり前の年度になるために、DEIを基本として、明日のために紡いでいきましょう。

I serve, but not We serve

国際ロータリー第2500地区

新入会員の紹介

第3分区 旭川ロータリークラブ

いい たか しゅんすけ
飯高 俊介

- 証券
- 1983年7月9日生
- 5月26日入会

早く旭川に慣れ親しんで貢献できるよう努めてまいります。趣味はゴルフで、素晴らしい環境の旭川で上達させたいと思っております。ぜひ皆さまとも一緒にできればと思います。よろしく願いいたします。

第3分区 旭川ロータリークラブ

かなざわ ともや
金澤 友也

- 保険一般
- 1975年1月26日生
- 6月2日入会

趣味:スポーツ観戦(特に野球)、ゴルフ(この旭川の地でレベルアップしたいです。) 家族構成:妻、長女(大学2年)、長男(高校2年)、次女(中学2年)会員の皆さまにご指導いただきながら、旭川ロータリークラブの更なる発展に貢献してゆきたいです。

第3分区 旭川ロータリークラブ

みずもと けんいち
水本 健一

- 地方銀行
- 1967年12月8日生
- 6月2日入会

ロータリークラブの活動と仕事を通じて、地域への奉仕と貢献に努めて参りたいと思います。どうぞよろしく願い致します。

第3分区 旭川ロータリークラブ

あべ あきら
阿部 亮

- 生命保険
- 1975年5月30日生
- 6月16日入会

趣味はゴルフにお酒です！単身赴任で暇してますのでいつでも誘って下さい(笑)

第6分区 帯広ロータリークラブ

みうら ひとし
三浦 人志

- 警備業
- 1965年9月6日生
- 6月28日入会

歴史と伝統のある帯広ロータリークラブに入会させて頂きまして、誠にありがとうございます。帯広に住むのは人生で初めてですが、魅力ある十勝を堪能したいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

第6分区 帯広ロータリークラブ

よしだ たかよし
吉田 隆佳

- 不動産賃貸業
- 1965年3月17日生
- 6月28日入会

自宅の小さな庭に芝生を植えています。なかなかきれいに育ちませんが、小さな芝の芽が出て、少しずつ生長していくことに喜びを感じる今日この頃です。皆様、どうかよろしく願いいたします。

第6分区 帯広ロータリークラブ

さとう こうすけ
佐藤 光輔

- 金融業
- 1972年12月5日生
- 6月28日入会

積極的に皆様と交流を図っていききたいと思っております。よろしく願いいたします。

ロータリー財団寄付者報告

第3分区 旭川モーニングロータリークラブ

いとう よしひろ
伊藤 吉洋

寄付月日 2023年1月9日
寄付種類 PHF

第3分区 旭川ロータリークラブ

じょうよう たかみち
上用 孝満

寄付月日 2023年5月29日
寄付種類 MPH F+1

第3分区 旭川南ロータリークラブ

くまの ひろゆき
熊野 博幸

寄付月日 2023年4月7日
寄付種類 MPH F

第3分区 旭川南ロータリークラブ

こたに のぼる
小谷 昇

寄付月日 2023年4月7日
寄付種類 MPH F

第3分区 旭川南ロータリークラブ

まえだ たかひろ
前田 敬洋

寄付月日 2023年4月7日
寄付種類 MPH F

第3分区 旭川南ロータリークラブ

こじま たかひろ
小島 崇宏

寄付月日 2023年4月7日
寄付種類 MPH F

第3分区 旭川北ロータリークラブ

ゆあさ ひであき
湯浅 秀昭

寄付月日 2023年1月30日
寄付種類 MPH F+1

第6分区 清水ロータリークラブ

かじ たけゆき
梶 竹征

寄付月日 2023年6月15日
寄付種類 MPH F+2

米山功労者報告

第3分区 旭川ロータリークラブ

こ たき たつ や
小滝 達也 寄付月日 2023年6月19日
 米山功労者 7回

第3分区 旭川ロータリークラブ

いがらし あき お
五十嵐暁郎 寄付月日 2023年6月19日
 米山功労者 1回

第3分区 旭川西ロータリークラブ

つぼ ぬま かず なり
坪沼 一成 寄付月日 2023年4月27日
 米山功労者 3回

第3分区 旭川北ロータリークラブ

やま もと じゅんいち
山本 淳一 寄付月日 2023年3月13日
 米山功労者 2回

第6分区 清水ロータリークラブ

おお つき きぬ こ
大月 帛子 寄付月日 2023年5月10日
 米山功労者 1回

第3分区 旭川ロータリークラブ

よし だ ゆたか
吉田 裕 寄付月日 2023年6月19日
 米山功労者 3回

第3分区 旭川ロータリークラブ

その だ なお ゆき
園田 直之 寄付月日 2023年6月19日
 米山功労者 1回

第3分区 旭川西ロータリークラブ

まつ の かず ひこ
松野 和彦 寄付月日 2023年4月27日
 米山功労者 3回

第3分区 旭川北ロータリークラブ

たに かわ あきら
谷川 徹 寄付月日 2023年3月13日
 米山功労者 3回

物故会員



第7分区 釧路ロータリークラブ

し みず ゆき ひこ
清水 幸彦

〈精神科医〉

2023年6月5日逝去 (享年94歳)

1965年10月 入会
 1974年 会長
 1979年 第7分区代理
 1981年 250地区ガバナー
 1972年 ポールハリスフェロー
 1995年 ポールハリスフェローベネファクター (2006年7回目)
 2003年 ポールハリスフェローポリオプラス (2005年2回目)
 2006年 ポールハリスフェロー恒久基金 (2017年6回目)
 2008年 ポールハリスフェローソサエティ (2020年9回目)
 1982年 米山功労者 (2019年5回目)



第8分区 根室ロータリークラブ

こ ばやし まさ すけ
小林 正輔

〈石油燃料販売〉

2023年5月18日逝去 (享年90歳)

1968年12月 入会
 1981年 幹事
 1984年 会長
 1984年 P H F
 1989年 S A A
 1992年 I M実行委員長
 1996年 米山功労者 (3回)
 2018年 米山功労者 (4回)
 2018年 プログラム・広報・雑誌委員長



第4分区 中湧別ロータリークラブ

よし だ こう ぞう
吉田 耕造

〈貨物自動車運送〉

2023年2月5日逝去 (享年76歳)

1993年 入会



第5分区 清里ロータリークラブ

すぎ さわ よし のぶ
杉沢 美信

〈団体職員〉

2023年4月14日逝去 (享年61歳)

2022年 入会

事務局 便り

ガバナー月信をご愛読いただき誠にありがとうございました。久木直前ガバナー事務所は7月末日をもちまして閉鎖とさせていただきます。
 ガバナーエレクト事務所開設以来、皆様からの温かいご支援とご厚情を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。
 末筆ではございますが、皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念いたしまして、御礼と事務所閉鎖のご挨拶とさせていただきます。
 久木直前ガバナー事務所 事務局員 嶋岡由佳子

例会出席率及び会員数推移

2023年6月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				2022年 7/1	当 月	増 減	女 性 会 員
1	礼 文	2	68.0	14	14	0	0
	利 尻	4	84.0	19	19	0	0
	利 尻 島	2	76.0	11	17	6	1
	天 塩	2	54.2	12	12	0	2
	豊 富	4	-	20	20	0	1
	稚 内	4	81.2	42	44	2	2
	稚 内 南	3	86.0	37	37	0	1
	計		74.9	155	163	8	7
2	美 深	3	88.8	23	23	0	1
	枝 幸	2	62.0	26	25	-1	0
	名 寄	4	65.5	54	54	0	2
	中 頓 別	4	75.0	12	13	1	0
	士 別	4	76.2	41	42	1	1
	計		73.5	156	157	1	4
3	旭 川	4	71.7	59	63	4	3
	旭 川 東	4	-	30	29	-1	0
	旭 川 北	4	90.1	39	43	4	0
	旭 川 南	4	83.7	28	24	-4	0
	旭 川 西	4	73.1	49	43	-6	5
	旭 川 東 北	4	85.0	15	15	0	1
	旭川モーニング	5	94.3	19	21	2	2
	旭 川 空 港	4	80.9	13	15	2	2
	美 瑛	3	53.3	28	30	2	0
	富 良 野	4	70.2	46	48	2	3
	上 川	3	70.0	10	10	0	0
	2500REクラブ	4	89.5	24	20	-4	3
		計		78.3	360	361	1
4	遠 軽	4	75.0	39	40	1	2
	紋 別	5	61.8	29	30	1	0
	紋 別 港	4	78.3	28	27	-1	0
	中 湧 別	2	93.8	10	8	-2	0
	興 部	4	85.0	15	15	0	0
	雄 武	4	75.2	13	13	0	0
	滝 上	3	97.6	10	14	4	1
	計		80.9	144	147	3	3

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				2022年 7/1	当 月	増 減	女 性 会 員
5	網 走	3	100.0	46	55	9	8
	網 走 西	4	100.0	49	48	-1	0
	美 幌	4	81.5	52	52	0	6
	北 見	4	80.6	56	53	-3	5
	北 見 東	5	67.5	43	37	-6	2
	北 見 西	4	77.0	59	61	2	0
	清 里	4	80.2	27	29	2	0
	留 辺 薬	4	78.3	22	23	1	1
	斜 里	4	83.8	33	31	-2	4
	計		83.2	387	389	2	26
6	足 寄	3	46.6	30	29	-1	1
	広 尾	2	52.5	15	20	5	0
	上 士 幌	3	74.4	13	14	1	0
	芽 室	3	75.7	22	22	0	1
	帯 広	4	65.8	80	88	8	5
	帯 広 東	4	77.5	39	39	0	2
	帯 広 北	4	52.7	62	64	2	3
	帯 広 南	4	81.3	65	67	2	7
	帯 広 西	5	64.1	84	87	3	6
	音 更	3	69.8	42	41	-1	5
	清 水	2	-	19	18	-1	2
	計		66.0	471	489	18	32
7	釧 路	5	74.2	97	97	0	0
	釧 路 東	3	66.0	31	33	2	0
	釧 路 北	4	84.0	110	111	1	13
	釧 路 南	5	71.0	26	27	1	4
	釧 路 西	3	70.0	27	28	1	1
	釧 路 ベ イ	4	82.5	20	19	-1	3
	音 別	3	73.0	15	16	1	0
	白 糠	4	80.0	10	10	0	1
	計		75.1	336	341	5	22
8	厚 岸	4	71.4	14	14	0	0
	別 海	3	51.5	11	11	0	0
	浜 中	4	71.6	13	11	-2	1
	中 標 津	4	48.6	27	38	11	2
	根 室	4	66.0	35	33	-2	0
	根 室 西	5	78.8	47	49	2	1
	弟 子 屈	2	78.4	19	16	-3	2
	計		66.6	166	172	6	6
	総 計		74.8	2,175	2,219	44	119

第2500地区 全66クラブ	22年7/1会員数	6/30会員数	増 減	平均出席率
	2,175	2,219	44	74.8%
女性会員数	92	119	27	



2022~2023年度
国際ロータリー第2500地区
Rotary International District 2500

ガバナー事務局

〒070-0043
旭川市常盤通1丁目 道北経済センタービル6F
TEL: 050-5444-5129 FAX: 050-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

Governor Office

〒070-0043
1Chome Tokiwadori Asahikawa Japan
Dohoku Keizai Center Building 6F
PHONE: +81-50-5444-5129 FAX: +81-50-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

<http://rid2500.jp/2022-2023/>

